

茨城県総合がん対策推進計画－第五次計画－(案)と－第四次計画－の目標項目新旧対照表

第五次計画目標項目(修正案)					第四次計画目標項目						
目標値更新	【全体目標】				【全体目標】						
	進捗経過			目標値等	進捗経過			目標値等			
	項 目				項 目						
国計画に合わせて目標変更	1	75歳未満のがんによる年齢調整死亡率の減少(人口10万人対)			60.6	1	75歳未満のがんによる年齢調整死亡率の減少(人口10万人対)			76.1	
	2	現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合			80%(茨城)	2	がん患者が適切な医療を受けられる体制の充実			-	
目標値更新	【個別目標】				【個別目標】						
	第 1 章 がん教育とがん予防				第 1 章 がん教育とがん予防						
新設	本章の最終目標		指標		目標値等	本章の最終目標		指標		目標値等	
	がんの予防		がん種別年齢調整罹患率(人口10万人対)		現況値より低下	がんの予防		がん種別年齢調整罹患率(人口10万人対)		現況値より低下	
目標値更新	項 目				目標値等	項 目				目標値等	
	1	がんのリスクに関する知識の習得割合	1	喫煙 (たばこ(受動喫煙含む)ががんのリスクを上げることの理解)	90 %	1	がんのリスクに関する知識の習得割合	1	喫煙 (たばこ(受動喫煙含む)ががんのリスクを上げることの理解)	100 %	
			2	飲酒 (過度の飲酒ががんのリスクを上げることの理解)				2	飲酒 (過度の飲酒ががんのリスクを上げることの理解)		
			3	食生活 (食塩ががんのリスクを上げることの理解)				3	食生活 (食塩ががんのリスクを上げることの理解)		
			4	身体活動 (運動ががんのリスクを下げることの理解)	80 %			4	身体活動 (運動ががんのリスクを下げることの理解)		
			5	体形 (肥満・やせすぎががんのリスクを上げることの理解)				5	体形 (肥満・やせすぎががんのリスクを上げることの理解)		
			6	感染 (ウイルス感染ががんのリスクを上げることの理解)				6	感染 (ウイルス感染ががんのリスクを上げることの理解)		
進捗経過				目標値等	進捗経過				目標値等		
2	がん予防推進員の養成			10,000名	2	がん予防推進員の養成			10,000名		
第2章に移動→12	3	20歳以上の喫煙率(%)	1	男 性	「健康いばらき21プラン」の計画期間の中間年の値	3	20歳以上の喫煙率(%)	1	男 性	25.5%	
継続			2	女 性			2	女 性	4.0%		
項目削除	項 目				目標値等	項 目				目標値等	
	4	最近受動喫煙の機会があった人の割合 (非喫煙者)	1	職場	「健康いばらき21プラン」の計画期間の中間年の値	6	最近受動喫煙の機会があった人の割合 (非喫煙者)	1	職場	0%	
2			飲食店	2				飲食店			
3			家庭	3				家庭			
4			公共の場	4				公共の場			
項目削除	項 目				目標値等	項 目				目標値等	
	5	20歳以上の1日の野菜摂取量(g)			「健康いばらき21プラン」の計画期間の中間年の値	7	20歳以上の1日あたりの果物(ジャムを除く)摂取量100g未満の者の割合(%)			48.2%	
継続	6	20歳以上の1日の食塩摂取量(g)	1	男性		9	1日の食塩摂取量(g)	1	男性	8.0 g	
			2	女性				2	女性	7.0 g	
新設	7	20歳以上の1日あたりの果物(ジャムを除く)摂取量100g未満の者の割合(%)			「健康いばらき21プラン」の計画期間の中間年の値	10	1日あたりの果物(ジャムを除く)摂取量100g未満の者の割合(%)			48.2%	
継続	8	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合(%)	1	男性		11	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合(%)	1	男性	20.3%	
			2	女性			2	女性	7.4%		
新設	9	1日30分以上の運動を週2回以上、1年以上継続している人の割合(運動習慣者、成人)			「健康いばらき21プラン」の計画期間の中間年の値						
			1	男性							
新設	10	「子宮頸がんセミナー」の開催回数			年4回以上 (R6～R10の各年)						
			2	女性							
新設	第 2 章 がん検診と精度管理				第 2 章 がん検診と精度管理						
	本章の最終目標		指標		目標値等	本章の最終目標		指標		目標値等	
新設	がんの早期発見		検診関連がんにおける早期がん割合		現況値より低下	がんの早期発見		検診関連がんにおける早期がん割合		現況値より低下	
			検診関連がんにおける進行がん罹患率					検診関連がんにおける進行がん罹患率			
目標値更新	進捗経過				目標値等	進捗経過				目標値等	
	11	がん検診受診率	1	胃がん (40～69歳)	60 % (70歳未満の受診率)	12	がん検診受診率	1	胃がん (40～69歳)	50 % (70歳未満の受診率)	
			(40歳以上)	(40～69歳)				(40歳以上)			
			2	肺がん (40～69歳)				2	肺がん (40～69歳)		
			(40歳以上)	(40歳以上)				(40歳以上)			
			3	大腸がん (40～69歳)				3	大腸がん (40～69歳)		
	(40歳以上)	(40歳以上)	(40歳以上)								
4	乳がん (40～69歳)	4	乳がん (40～69歳)	(40歳以上)							
(40歳以上)	(20～69歳)	(20～69歳)	(20歳以上)								
5	子宮頸がん (20歳以上)	5	子宮頸がん (20歳以上)								
12	がん検診推進サポーターの養成			9,000名		13	精密検査受診率				90 %
継続			1	胃がん		90 %			1		胃がん
			2	肺がん	2				肺がん		
			3	大腸がん	3				大腸がん		
			4	乳がん	4				乳がん		
			5	子宮頸がん	5				子宮頸がん		

第五次計畫目標項目(修正案)

第 3 章—I がん医療体制の整備

本章の最終目標	指標	目標値等
がん診療レベルの向上	①がんの診断・治療全体の総合的評価 (10点満点)	80% (達成)
	②一般の人が受けられるがん医療は数年前と比べて進歩したと思う患者の割合	
治療選択についての情報提供の充実	治療決定までに医療スタッフから治療に関する十分な情報を得られた患者の割合	80% (達成)

進捗経過		目標値等
項 目		
14	がんゲノム医療拠点病院数	1病院
	がんゲノム医療連携病院数	4病院
	がん遺伝子パネル検査の出検数	550検体
15	死亡場所で患者が受けた医療に関し「患者の不安をやわらげるように医師・看護師・介護職員は努めていた」と思うとの回答割合	80%
16	最初の治療開始前に、不妊の影響に関する説明を受けたがん患者(40歳未満)の割合	80%
17	末期のがん患者に対して在宅医療を提供する医療機関数	223 医療機関(R9)

項目削除

継続	18	がん患者の在宅死亡割合	25%
項目削除	19	専任の放射線治療における機器の精度管理、照射計画の検証、照射計画補助作業等に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医学物理学に関する専門資格を有する者の配置	各拠点病院に1名以上配置

项目删除

項目別数	20	がん療育施設認定療育施設の設置	各拠点病院に 10名以上配置
------	----	-----------------	-------------------

21に統合

項目削除	24	がん診療連携拠点病院にがんに係る分野の認定看護師の育成・配置		
		1	緩和ケア認定看護師 (A課程、B課程の合算)	各拠点病院に 2名以上配置
		2	がん薬物(化学)療法看護認定看護師	各拠点病院に 2名以上配置
		3	乳がん看護認定看護師 (A課程、B課程の合算)	各拠点病院に 1名以上配置
		4	がん放射線療法看護認定看護師 (A課程、B課程の合算)	各拠点病院に 1名以上配置

新設	19	がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院及び茨城県がん診療指定病院(17施設)におけるがん患者指導管理料イの算定回数	明確な数値目標は立 です。茨城県がん診 療連携協議会では毎 年モニタリングを行 い、最終的に計画期 間内の増加率(令和 5年度実績と計画期 終りの実績の比較)に より評価を行う。
新設	20	がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院及び茨城県がん診療指定病院(17施設)におけるがん患者指導管理料ハの算定回数	明確な数値目標は立 です。毎年モニタ リングを行い、最終 的に計画期間内の増 加率(令和5年度実 績と計画終りの実 績の比較)により評 価を行う。
項目削除	24	がん診療連携拠点病院に特定行為研修修了看護士の育成・配置	各拠点病院に 1名以上配置
新設	21	がん診療連携拠点病院にがん病態栄養専門管理栄養士を配置	各拠点病院に 1名以上配置

項目削除

項目削除

第四次計畫目標項目

第 3 章—I がん医療体制の整備

項 目	進捗経過	目標値等
-----	------	------

14	がん患者に在宅医療を提供している医療機関数	320医療機関 (医療機関の約20%)
15	訪問看護認定看護師の育成	各二次保健医療圏に 1名以上
16	がん患者の在宅死亡割合	20%
17	がん診療連携拠点病院に放射線療法に携わる専門的知識及び技能を有する専任の医学物理士の配置	各拠点病院に 1名以上配置

18	がん診療連携拠点病院に化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医療従事者の配置		
	1	医師 日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医	各拠点病院に1名以上配置
	2	薬剤師 がん薬物療法認定薬剤師	各拠点病院に1名以上配置
	3	看護師 がん化学療法看護認定看護師	各拠点病院に2名以上配置

19	がん診療連携拠点病院にがんに係る5分野の認定看護師の育成・配置		
	1	緩和ケア認定看護師	各拠点病院に2名以上
	2	がん化学療法看護認定看護師	各拠点病院に2名以上
	3	がん性疼痛看護認定看護師	各拠点病院に1名以上
	4	乳がん看護認定看護師	各拠点病院に1名以上
	5	がん放射線療法看護認定看護師	各拠点病院に1名以上

20	がん診療連携拠点病院に特定行為研修修了看護師の育成・配置	各拠点病院に1名以上
21	がん診療連携拠点病院等における栄養サポートチームの整備(加算取得)	各拠点病院等に整備
22	がん診療連携拠点病院に医科歯科連携による口腔管理の提供体制の整備	各拠点病院に整備
23	がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院、県がん指定病院におけるがん患者リハビリテーション体制の整備(加算取得)	各医療機関に整備

第五次計畫目標項目(修正案)

第 3 章－Ⅱ 緩和ケアの推進

本章の最終目標	指標	目標値等
身体的・精神的苦痛を抱えるがん患者の減少	①身体的な苦痛を抱えるがん患者の割合	20%（茨城）
	②精神心理的な苦痛を抱えるがん患者の割合	
苦痛に対する適切なケア・治療の普及	医療者はつらい症状に速やかに対応していたと感じる割合	80%（茨城）
がん患者が、医療者に苦痛の表出ができること	身体的なつらさがある時にすぐに医療スタッフに相談ができると思う患者の割合	
	心のつらさがある時にすぐに医療スタッフに相談ができると感じている患者の割合	

項 目	進 捗 経 過	目 標 値 等
22	がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・茨城県がん診療指定病院(17施設)における年間新入院がん患者のうち、苦痛のスクリーニングを実施した患者の割合	明確な数値目標は立 てず、毎年モニタリ ングを行い、最終的に 計画期間内の増加率 (令和5年実績と計画 終期の実績の比較) により評価を行う。
23	がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院(10施設)における年間新入院がん患者のうち、緩和ケアチームが新規で介入を行った患者の割合	明確な数値目標は立 てず、毎年モニタリ ングを行い、最終的に 計画期間内の増加率 (左記状況と計画 終期の実績の比較) により評価を行う。
24	がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・茨城県がん診療指定病院(17施設)における、がん患者管理指導科の算定回数	明確な数値目標は立 てず、毎年モニタリ ングを行い、最終的に 計画期間内の増加率 (令和5年実績と計画 終期の実績の比較) により評価を行う。
25	各二次医療圏において、多職種連携カンファレンスを年1回以上、主催しているがん診療連携拠点病院・地域がん診療病院の数	10/10病院
26	がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院(10施設)において、他医療機関からの緩和ケアに係るコンサルテーションに対応した件数	明確な数値目標は立 てず、毎年モニタリ ングを行い、最終的に 計画期間内の増加率 (令和5年実績と計画 終期の実績の比較) により評価を行う。
	茨城県緩和ケア研修会受講	
27	がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院以外の医療機関に所属する医師の研修会受講者数	1,000人
28	がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院(10病院)に所属するがん診療に携わる医師の研修会受講割合	90%
29	茨城県緩和ケア研修会フォローアップ研修会の開催	年1回以上開催
30	がん診療連携拠点病院・地域がん診療指定病院(10病院)における、地域緩和ケア連携調整員の活動内容について、報告・共有する場を設ける	年1回開催
31	緩和ケアや医療用麻薬について、正しい認識を持っている人の割合	55%

**項目削除
または21
に統合**

項目削除

項目削除

30に目標
変更

項目削除

第四次計畫目標項目

第 3 章-Ⅱ 緩和ケアの推進

項 目	進捗経過	目標値等
-----	------	------

	茨城県緩和ケア研修会受講		
24	1	がん診療連携拠点病院等の「がん診療」において、 がん患者の主治医や担当医となる者の受講率	90%以上
	2	がん診療に携わる医師受講者数(うち、診療所勤務医受講者数)	2,300人 (400人)
25	茨城県緩和ケア研修会フォローアップ研修会の開催		年1回以上開催

	がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院及び県がん診療指定病院における緩和ケアチームの人員体制(1名以上/病院配置)		
26	1	精神症状の緩和に携わる専門的知識、技能を有する医師(常勤、非常勤を問わない)	各がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・茨城県がん診療指定病院に設置
	2	緩和ケア認定看護士またはがん性疼痛看護認定看護師	
	3	緩和薬物療法認定薬剤師	
27	地域がんセンターに緩和ケアセンターを整備		4病院
28	地域がんセンター以外のがん診療連携拠点病院等に緩和ケアセンター又は同様の機能を担う体制を整備		7病院
29	がん診療連携拠点病院等による地域緩和ケア連携に関する協議会(地域緩和ケア連携協議会(仮称))等を年1回以上開催		11病院
30	職种や技術等に応じた段階的な教育プログラムでの研修会の開催		
	1	医師会	年1回以上開催
	2	看護協会	年1回以上開催
	3	薬剤師会	年1回以上開催

第五次計画目標項目(修正案)

第 3 章―Ⅲ 生活支援体制の整備

新設	本章の最終目標		目標値等
	がん患者が相談を利用し、役立ったと思えること	①相談支援センターを利用したことのある人のうち、役に立ったと感じるがん患者の割合	80%（茨城）
		②ピアサポートを利用したことのある人のうち、役に立ったと感じるがん患者の割合	
新設	がん患者の家族への支援	家族の悩みや負担を相談できる支援が十分であると感じているがん患者・家族の割合	
新設	外見の変化に起因する苦痛の軽減	身体的・精神的な苦痛により日常生活に支障をきたしているがん患者の割合	20%（茨城）

第 4 章 がん登録とがん研究

新設	本章の最終目標		
	がん登録情報（全国がん登録・院内がん登録）の利活用を通じて、がん対策に係る各種施策の評価や県民への情報提供等を行うことで、総合的ながん対策（第1章～第3章）の推進を図る。		
目標変更	進捗経過		目標値等
	39	「院内がん登録生存率集計」において、生存状況把握割合90％以上であり、生存率が公開されている医療機関数	17病院
継続	40	5大がん以外のがん種について診療を行うがん診療連携拠点病院、地域がん診療病院及びがん診療指定病院において院内がん登録実務中級認定者を1名以上配置	17病院
項目削除			
新設	41	全国がん登録情報の提供件数	17件／年
新設	42	全国がん登録情報を掲載した資料（パンフレット等）を県民に配布しているイベントの件数	100件（第五次計画期間内の累計）
新設	43	Qi研究	17病院
		課題となる指標に対し、未実施理由の採録を行っている医療機関数	17病院

第四次計画目標項目

第 3 章―Ⅲ 生活支援体制の整備

	進捗経過		目標値等
	31	すべてのがん診療連携拠点病院、地域がん診療病院、茨城県がん診療指定病院において患者サロンを設置	各がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・茨城県がん診療指定病院に設置
		32	国立がん研究センターが実施する「相談支援センター相談員指導員研修会」を受講した相談員をがん診療連携拠点病院のがん相談支援センターに1名ずつ配置
	進捗経過		目標値等
	33	標準登録様式による院内がん登録を実施している医療機関数	28病院
34	がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院及びがん診療指定病院において院内がん登録実務中級認定者を1名以上配置		17病院
35	全国がん登録における茨城県のDCO(%)（罹患集計年）		3.0％以下

第 4 章 がん登録とがん研究